

駒の館だより

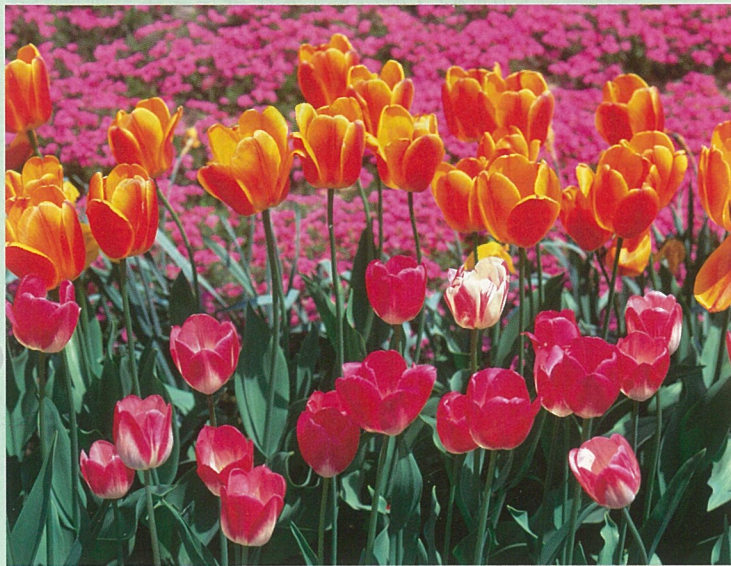
第26号

平成19年3月1日 発行

明治鍼灸大学附属図書館

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL. 0771-72-1181 (代)

明治鍼灸大学図書館報



目次

- | | |
|--|----------------|
| ① 図書館長就任のご挨拶 | 中尾 昌宏 |
| ② 自著を語る
磁気共鳴スペクトルの実際
—臨床応用マニュアル—
—臨床実地問題から学ぶ
柔道整復理論— | 田中 忠蔵
勝見 泰和 |
| ③ 私のお薦めの1冊
”東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ”
「皮膚は考える」 | 智原 栄一
篠原 昭二 |
| ④ 特別寄稿1
「駒の館」と馬 | 中川 雅夫 |
| ⑤ 特別寄稿2
看護学部看護系ユニットの紹介 | 看護学部
附属図書館 |
| ⑥⑦ 新着図書案内一覧 | 〃 |
| ⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記 | 〃 |



図書館長就任のご挨拶

附属図書館長 中尾 昌宏

平成18年4月に図書館長を拝命いたしました。忙しさにかまけて普段専門領域以外の本や文献などほとんど読むことのない自分に勤まるのかとまだ不安に思っていますが、明治鍼灸大学にふさわしい図書館に発展させるべく努力いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

さて、図書館長に就任はしたものの当初は何をすればいいのかよくわからないため、本学で行われている研究や教育の全般について思いをめぐらすとともに、時間を見つけては図書館に足を運び、蔵書を眺めたり職員の方と話をしていました。いろいろと考えた末、とりあえず松浦前館長からの課題である購入雑誌の見直しに着手いたしました。6月に行われました運営委員会です承をいただいた上で、各学術雑誌の過去5年間の利用状況を調査し、その結果をまとめてすべてのユニット長の先生方に提示して、必要な雑誌とあまり必要ではない雑誌とを区別していただきました。これらの結果を踏まえ、11月の運営委員会で一部の欧文雑誌と和文雑誌の購読中止を決定いたしましたので、詳細は図書館の掲示板をご覧ください。

今回の検討から、本学で必要性の高い文献とは東洋医学のほか一般自然科学、生理学、免疫学、神経、整形外科的

疾患、疼痛、スポーツ医学、リハビリテーション、MRI等に関するものではないかと考えられましたので、今後の蔵書整備の参考にさせていただきます。

図書館の使命は臨床 研究 教育に必要なかつ有用な資料を収集所蔵し、利用に供することであると思います。そのためには学術雑誌はより充実しなければならないと考えられ、今回の雑誌購読の見直しは時代に逆行しているのではないかと内心忸怩たる思いもしております。それでも看護学部開設の際に決定された雑誌を今後図書館で購入しなければならないため、次年度は購入雑誌数も予算額も本年度を上回りそうです。受験者数の減少により私学経営も厳しい折、利用者の皆様にはご賢察の上、本学にふさわしい図書館とはどうあるべきか、今後とも建設的なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

エリカ (薬草)

学名 Calluna vulgaris (L.) HULL.
ツツジ科

花は四つにわかれたとても小さな花冠をもち、鈴の形をした紫がかった葉色の大きな、がくに包まれています。
エリカは1ダース以上もの種類があり、秋になれば、花こう岩質の荒野をおおいつくす草です。

(効能)

腎機能不全・結石・膀胱炎・淋疾・
リウマチ・利尿作用・浄化作用等





磁気共鳴スペクトルの実際 —臨床応用マニュアル—



保健医療学部
脳神経外科学ユニット
田中 忠蔵

編集：成瀬昭二、医学書院、
1995 年刊 229p 26cm
12,000円

1995年に発行された本書は、MRI装置を用いた磁気共鳴スペクトルの測定をきわめて実際に詳細に記述したマニュアルである。私が、核磁気共鳴（NMR）の医学応用の研究を開始したのは1979年であり、いまだMRIは製造されていなかった時代であった。当時、ラットに脳浮腫を作り、脳を摘出して皮質と白質に分け、NMR試験管に収めて、PFT100と呼ばれた100MHzのNMR装置でT1、T2緩和時間の測定を行っていた。続いて、脳梗塞や脳腫瘍などの摘出組織の緩和時間やスペクトルをこの装置で測定した。1982年には縦置きのみであったNMR装置に実験動物が生きのまま（in vivo）で測定できる横置きの磁石を用いた装置（TMR）が発売され、早期に岡崎の生理学研究所に導入された。

この装置、MRI誕生以前のため、MR画像の測定はできず、スペクトロスコーピー専用機であった。生理研のとのった動物実験室でラット脳梗塞モデルを作成し、夜を徹して31P-MRスペクトルの測定を行っていた。さらに、口径の大きな縦型NMR装置でマウスやラットのMRスペクトルを生きのまま測定できる方法も行われ、当時このNMR装置を梅田先生が開発担当していた東京の日本電子に通った。臨床にも携わっていたため休日に2人で実験していたと思う。ところで、ラットを大きな紙袋に入れ新幹線に乗るのだが、お盆に近い休日はぎっしりと混み合っていて、肝腎の紙袋が身体から離れて引き寄せられることも出来ず、かろうじて手提げ部分をつかんだまま立ちつくし、東京駅に着いてホッとしたことなどもあった。本学のMRセンターの立ち上げに最新の実験用MR装置の導入とその環境整備にこれらの経験が大いに役立っている。実験機ばかりでなく臨床用MRのその後の成果をも含めて実際のMRの実験手技をまとめたのが本書である。



—臨床実地問題から学ぶ柔道整復理論—



看護学部
整形外科学ユニット
勝見 泰和

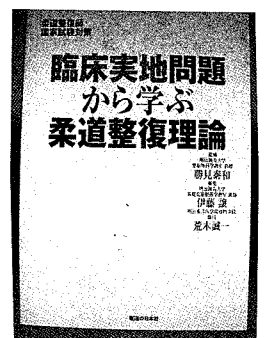
勝見泰和 監修、伊藤 譲、
荒木誠一著 医道の日本社、
2005年刊 146p 26cm
2,200円

高齢化社会の到来とともに筋骨格系の疼痛を訴える患者さんが増加しており、限りある財源のもとに質のよい医療が柔道整復師にも求められている。この状況下で柔道整復師の養成施設は増加の一途をたどっており、必然的にその国家試験は年々難しくなってきた。

本書は、本学の伊藤譲先生と専門学校の荒木誠一先生が書き上げ、最後に私が監修を行った。臨床実地問題を単に解答するだけでなく、より深く臨床実地問題の疾患を理解できるように解説した。学生諸君にとっては国家試験に合格できる知識の整理ばかりでなく、将来臨床の現場で役立つ知識を獲得できると思う。試験・試験と考えると勉強がいやになるが、自分が実際

の現場で施術していると想定し、問題を解くと興味もてるのではないか。その意味から言うと試験直前よりもっと余裕のあるときに本書で勉強することが望ましい。柔道整復理論の勉強をしているときには、参考書としてさらに役立つであろう。

柔道整復師の役目は、「打撲、捻挫、脱臼、骨折等」に対して応急的または医療補助的方法により、その回復を図らなければならない。また施術の制限として医師の同意を得た場合のほか脱臼又は骨折の患部に施術してはならない。ただし、応急手当をする場合はこの限りでない」と法律にて定められている。柔道などで怪我をしたとき、その現場で適切な応急処置を施すが、骨折などの損傷が疑われる場合は、すみやかに医療機関に搬送しなければならない。柔道整復師といえども適切な判断が要求され、医療機関への迅速な紹介が必要である。合格の後に、外傷の現場で応急的または医療補助的方法により、その回復を図るよりよき柔道整復師になることを願っている。



私のお薦めの一冊

"東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ"

遥 洋子著 筑摩書房 2000年刊

鍼灸学部
麻酔科学ユニット
智原 栄一

世の中にはいわゆる常識や人々が共有する諦めとかがある。それに対して誰かが「そんなことはねえよ!!」と時々大声をあげ

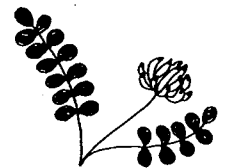
て、痛快がられる。大半の高校生にとって東大合格はあり得ないと思えるのでドラゴン桜と言うコミックが流行る。

大学生の思い込みに、「大学に入れば勉強ができるようになる。単位をとれば少し賢くなる。」がある。こう思った方が生徒も（おそらく教員も）楽なのでこの思い込みは広く共有されている。誰かが喝を入れなさいといけなさい。「格好だけ勉強して自分の頭で考えなかつたら何一つ分かっていないんだ!!」と。東大へ入ることより中で学ぶ方が遥かに重要で大変だ。いや、どこの大学でも学ぶことは格闘技なのだ。

上野千鶴子氏は京都の大学教員で過激なフェミニズ

ムで注目されていた。ある日東京大学の教授になって出て行ってしまった。京都の大学関係者は中央政府や東大が大嫌いな人がたくさん居る。「ウエノは東大に魂を売った。」などの陰口もあった。上野氏は中傷を気にする風も無く東大へ行って過激にやっているらしい。そのゼミに吉本の女タレントが飛び込んだらどうなるか?コミカルなタッチの本であるがそこに垣間見える格闘技としての学びは、学問の分野を超えて刺激的である。勉強することはこんなに熱いということを見せてくれる。

言葉を操ることの厳しさについても、これくらい学生に教えられたらと思うこともある。同時に言葉だけが飛び交い現実から離れることの危さを感じる読者もいると思う。医学でも身体を通して考えることを止めると言葉の仮想世界が構築される。我々の学びの世界にも多くの示唆が含まれた本である。



「皮膚は考える」

傳田光洋著、岩波科学ライブラリー112

2005年刊 1,200円



鍼灸学部
東洋医学基礎ユニット
篠原 昭二

鍼灸治療では、経絡経穴は切っても切り離すことはできない。その経穴であるが、体表面に現れる種々の反応を術者の五官を通して把握することが要求される。一方、東洋医学ということでは反応ばかりを追求することに追われて、皮膚について十分な知識を持ち合わせていないことが少なくないと思われる。

著者は、「皮膚は身体を包むだけの単なる包装紙ではない。重さ約3kgになる最大の「臓器」である」としている。四半世紀前までは皮膚は単なるバリアーとしてしか認識されていなかったようであるが、皮膚のケラチノサイトには、種々の受容器が存在し、皮膚感覚の最初の受容機構を担っており、触覚、痛覚、搔痒感のみならず、外部からの刺激に対して体内の免疫系、内分泌系を作動させる役割

を持っているという。

さらに、表皮が光を受容してメッセンジャー物質を分泌して、それが末梢血管や神経経路で内分泌系、神経系にもたらされ気分や全身の状態に作用する可能性があるという。こうなってくると巷間行われているカラーセラピーもあながち眉唾とばかりは言えなくなってくる。

また、種々の神経系の情報伝達物質を皮膚に塗布すると皮膚状態に対して何らかの作用が出現すること。このことは情報伝達物質の受容体が表皮にも存在している可能性を示唆するものである。そんな意味で、ツボを暗記することに疲れた学生諸君にとって、気分転換に是非一読頂きたい図書の一つである。

ところで、皮膚についての研究は多く行われているが、経絡についてはまだまだ遅れている。恐らく経絡に応じて皮膚も微妙に変化することまで研究が進んだとき、やっと東洋医学本来の意義も理解されるのではないかと密かに考えている。



「駒の館」と馬



学長 中川雅夫

この夏頃だっただろうか、中尾図書館長から大学図書館報の巻頭随筆を書くように言われ、「駒の館だより」(第25号)を渡された。「駒の館」って何と読み、何を意味するのだろうか?なぜ図書館が「駒の館」(うまのやかた)なのだろうか?多少短絡があるかもしれないが、咄嗟にそんな疑問がうかんできて、四月に本学に来たばかりの私には分からないことばかりなのでまず図書館へ走った。

明治鍼灸大学図書館報「駒の館だより」第17号 p.3-4に「駒の館だより遺聞」という随筆があり、その一節に本学初代学長河上邦治先生の文章が載っていることを図書館司書に教えてもらった。本学の学歌は先生ご自身の作詞であること、第2節の「駒川(こまがわ)の水いや清く 丹波山脈(たにはやまなみ)仰ぎみて」と現わされて



いることなどから、「駒の館」とは丹波のこの地に建てられた図書館と言うことで一旦は納得した気になっていた。しかし、ただそれだけの意味なのだろうか。他に意味はないのだろうか?と考えると、何となくすっきりしない気持ちになってきて、長年本学に務めてこられたと思われた何人かの人に問いかけてみた。

現在大学のある日吉町の北にある胡麻(ごま)の地名は「駒」から来ていると考えられ、現在の胡麻町あたりは平安時代以前には天領とされていたところから、おそらくこのあたりは広々とした草原が展開し多くの馬が放たれ、その間をぬって流れる小川の水辺では馬がのどの乾きをうるおしていたかの光景が浮かんできた。こうした背景から、昔はこのあたり一帯は駒(こま)の地と呼ばれていたようである。ここまでは学務の合間に私が個人的に見聞した情報に基づいて、本学の図書館報の名前の由来を推測をまじえて解釈したものである。後日、前図書館長の松浦教授から館報名の

由来に関する解説が「駒の館」第18号 p5にもあることを知らされ、その中に本学の立地する地名の歴史的な由来が参考文献(日本歴史地名大系第26巻「京都府の地名」)とともに解説されており、上記の推察内容の正しいことが確認された。

しかしながら、それでもまだ何故、初代学長が「駒の館」の「駒」の文字にこだわられたのかが分からない。先生は哲学者でもありまた文学者でもあったとお聞きしていたので、ただ単なる言葉遊びのつもりで名付けられたのかもしれないとも考えた。先生が図書館利用者を「馬」に見立てられたのではないとは思いますが、私のような単純な者が解釈すると「駒の館」を「馬のやかた(うまや、馬舎、厩、馬小屋)」と解釈しかねない。日本を代表する古い歴史と良き風土に恵まれた、この美しい自然環境の中で「馬」が悠々とくつろぐごとく、本学

の利用者には図書館でゆっくりと勉学に励んでもらいたいとの先生の気持ちをこの「駒の館」の名に込められたのではないかと解釈してみても如何だろうか。

我々の明治鍼灸大学も間もなく創立30年を迎えようとしており、図書館整備の記念事業も計画されようとしているが、現在のような激しい情報化社会にあっても、本学図書館にはそんな素晴らしい雰囲気をかもしだす空間であってほしいと願っている。そうした中でこそ、新たな発想や発見がもたらされ、研究や学問の発展に貢献できる人材の育成ができるのではないだろうか。



看護学部看護系ユニットの紹介

基礎看護学ユニット

基礎看護学の担当科目は、看護学概論、看護基礎理論、生活援助論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、看護過程論、看護技術学、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱの9科目13単位です。入学後の学生が始めて学ぶ看護の科目を担当するので、看護に興味を持てるよう協力し合っ

て教育に当たっています。

成人看護学（成人急性期看護学 成人慢性期看護学）ユニット

成人看護学は、成人期のあらゆる健康レベルにある対象を総合的・全人的にとらえ、社会的変化を視野にいれ、医療事故の予防、倫理的配慮の必要性、セルフケア能力を高めQOLの維持・向上を目的とした援助方法等を教授します。

成人看護学授業の構築として、「成人看護学概論」、周手術期看護を中心とした「成人急性期看護援助論」、慢性期疾患看護を中心とした「成人慢性期看護援助論」、及び、各看護学実習があります。

リハビリテーション看護学ユニット

リハビリテーションとは障害をもつ人が主体性、自立性、自由という人間らしさを再構築することです。その中での看護職の役割は多くの職種との連携のもとに可能な限りの自立と健康回復・維持・増進によって生活の質を向上させるための過程を支援することです。講義や実習を通してその過程を学びます。

母子看護学ユニット

母性看護学では、妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の特性を理解し、援助できる力を育み、基本的には、思春期から更年期までの女性を対象に、健康の維持・増進を目的とした相談や指導を行います。

小児看護学では、子どもの成長・発達および子どもを取り巻く環境を理解し、子どもと家族の健康な生活への援助方法を学びます。

老年看護学ユニット

老年看護学は、講義や実習を通して、老年期を生きる人々と交わり、その生活に関わりながら、「生きる」ということを考えます。また老年期をトータルに捉えて理解し、その人々が望む生活についてともに考え、援助できる能力を学生さん自身が向上していけるようなサポートを目指します。

地域看護学ユニット

地域看護学では、主として保健師に関する教育を担当します。地域看護には、大きく分けて公衆衛生看護、在宅看護、学校保健、産業保健の4つの分野があります。赤ちゃんからお年寄りまで、健康な人からターミナルの人まで地域で生活するすべての人々が安心して暮らせるよう、病気の予防や療養の支援を目的に家庭訪問や健康教育を行います。



新着医学系図書・視聴覚資料一覧

(平成18年1月～12月収録分)

書名	著者名等	出版社
股関節エクササイズ やせる!痛みが消える!	安心編集部編者	マキノ出版
家庭でできる新しい代替療法	ほんの木編	ほんの木
劉勇直伝フットマッサージいつでもどこでもかんたん	劉 勇	本の泉社
改訂版あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師国家試験	あはき師、柔整師教育研究会	桐 書 房
マッサージ治療法軽い症状を取る『マッサージセラピー』のリニューアル版	サラ・トーマス/越智由香翻訳	産 調 出 版
図解基本術式あん摩・マッサージ・指圧による全身調整	森英俊編著	医 歯 薬 出 版
新版鍼道発秘講義葦原英俊『鍼道発秘』解説	横田親風	日本の医学社
クリニカルマッサージ	JamesH.Clay/DavidM.Pounds/	医道の日本社
わずか6ヶ月!「治せる整体師」になれる	剣持甲子朗	現 代 書 林
タイ・ヨーガマッサージ	ニッキー スミス/阿部順子翻	産 調 出 版
骨盤スクール健康になる!キレイになる!骨盤のすべてがわかる本		インデックス コミュニケ
新しい鍼灸診療	北出利勝編集	医 歯 薬 出 版
はり100本鍼灸で甦る身体	竹村文近	新 潮 社
刺鍼事故一処置と予防一	劉玉書編者/浅野周訳	三 和 書 籍
クリニカルマッサージひと目でわかる筋解剖学と触診・治療の基本テクニック	JamesH.Clay/DavidM.Pounds/	医道の日本社
クリニカルマッサージひと目でわかる筋解剖学と触診・治療の基本テクニック	JamesH.Clay/DavidM.Pounds/	医道の日本社
「経絡リンパマッサージ」デトックスダイエット	渡辺佳子	高 橋 書 店
心と体をリセットする決定版経絡リンパマッサージハンドブック	渡辺佳子	主婦の友社
図解!台湾式足つぼ自分でできるラクラクマッサージ	大田さなえ	新 風 舎
[図でわかる]中医針灸治療のプロセス	朱江ほか編者/篠原昭二 監訳	東洋学術出版社
レディース鍼灸-ライフサイクルに	矢野忠編著	医 歯 薬 出 版
縮めて縮めて関節痛をなおす自分でできる「関節ニュートラル整体」の極意	及川雅登	講 談 社
柔道整復用語事典第2版	西基総監修	海 馬 書 房
整形外科疾患の理学療法ここがポイント改訂第2版	河村廣幸ほか共著/富士武史	金 原 出 版
超音波による骨・筋・関節の観察	筋骨格画像研究会編集	南 江 堂
整形外科診療実践ガイド診療に必要なエッセンスがまじり詰まったガイド	守屋秀繁編集/糸満守憲編集/	文 光 堂
リハビリテーション論	澤村誠志責任編集	メジカルフレンド社
医学一般・公衆衛生	山口昇責任編集/多田羅浩三責	メジカルフレンド社
驚異のパワーリハビリテーション活動力を高める介護予防・自立支援	竹内孝仁	年 友 企 画
柔道整復師国家試験傾向と対策2006	柔道整復師教育研究会編集	南 江 堂
STEP整形外科第2版	高橋正明監修	海 馬 書 房
図解整形外科	久保俊一編著/山下敏彦編著/	金 芳 堂
高齢者運動処方ガイドライン	佐藤祐造編集	南 江 堂
リハビリテーション医学テキスト改訂第2版	三上真弘編集/石田暉編集	南 江 堂
肩-その機能と臨床	信原克哉	医 学 書 院
運動療法学	柳澤健	金 原 出 版
前十字靭帯(ACL)損傷診療ガイドライン-CD-ROM付き-	日本整形外科学会診療ガイドライ	南 江 堂
投球障害肩こう診てこう治せ整形外科医と理学療法士からのアドバイス	筒井廣明/山口光國	メジカルビュー社
AO法骨折治療HandandWrist[英語版DVD-ROM(Win版)付き]	JesseB,Jupiterほか/田中正	医 学 書 院
目でみる運動機能検査法機能解剖と評価	竹内義享/澤田規	南 江 堂
整形外科学用語集第6版	日本整形外科学会編集	南 江 堂
モーターコントロール運動制御の理論と臨床応用原書第2版	AnneShumway-Cookほか/田中繁	医 歯 薬 出 版
柔道整復師国家試験傾向と対策2007	柔道整復師教育研究会編集	南 江 堂
骨・関節術後感染予防ガイドライン	日本整形外科学会診療ガイドライ	南 江 堂
整形外科学用語集第6版	日本整形外科学会編集	南 江 堂
基本手技・関節固定術・関節形成術	S.テリー.カナリ原著編集者/藤	エルゼビア・ジャパン
切断術・感染症・腫瘍	S.テリー.カナリ原著編集者/藤	エルゼビア ジャパン
総目次 総索引	S.テリー.カナリ原著編集者/藤	エルゼビア ジャパン

新・芯から支える-実践リハビリテーション心理-
 運動療法ガイド-正しい運動処方方を求めて-改訂第4版
 胸腰椎・腰椎・仙椎
 Judo Seifuku Therapy Theory Book 4 thedition
 Reconstructive plastic surgical nursing clinical management and wound care
 Primary orthopedic care
 Orthopaedic and trauma nursing
 New 図解説急ケア
 図解すぐわかる検査値の読み方
 新版テキスト母性看護Ⅰ
 新版テキスト母性看護Ⅱ
 リハビリテーション看護
 成人看護学D. リハビリテーション患者の看護
 健康の回復と看護-運動機能障害
 健康の回復と看護-脳神経・感覚機能障害
 看護実践の倫理第2版倫理的意志決定のためのガイド
 ベナー解釈的現象学健康と病気における身体性・ケアリング・倫理
 やってみよう!基礎看護技術演習・実習チェック学習
 看護にいかすリラクゼーション技法ホリスティックアプローチ
 看護技術スタンダードマニュアル
 やってみよう!ヘルスアセスメント
 系統看護学講座専門基礎2人体の構造と機能生化学
 ウイメンズヘルスナーシング概論女性の健康と看護
 糖尿病患者のセルフマネジメント教育エンパワメントと自己効力わかる!使える!やる気を
 糖尿病看護のポイント150
 ナースのための質問紙調査とデータ分析
 Symptom relief in palliative care
 Guidelines for nurse practitioners in gynecologic settings
 Psychology for nurses and the caring professions
 Community mental health nursing and dementia care practice perspectives
 Perianesthesia nursing a critical care approach
 Nursing care plans nursing diagnosis and intervention
 Perinatal patient education a practical guide with education handouts for patients
 A textbook of perioperative care
 Pediatric primary care a handbook for nurse practitioners
 Critical care nursing a holistic approach
 Oxford textbook of palliative medicine
 Community/public health nursing practice health for families and populations
 Community & public health nursing
 Nursing interventions & clinical skills
 Delmar's clinical nursing skills & concepts
 他

大田仁史
 井上一編者/武藤芳照編者/福
 越智隆弘総編集/戸山芳昭専門
 The Textbook Committee of the
 Jill E. Storch/JanRice
 Christy L. Crowther
 Julia D. Kneale/Peter S. Davi
 芦川和高監修
 兼高達貳監修/栗原毅監修
 後藤節子編者/森田せつ子編者
 後藤節子編者/森田せつ子編者
 奥宮暁子監修/石川みよみ監修
 氏家幸子監修/大森武子編/
 富重佐智子編者
 田村綾子編者
 サラT.フライほか/片田範子
 PatriciaBennel/相良ローゼマ
 Geupple編集委員会編集/池西静
 荒川唱子編者/小坂橋喜久代編
 川島みどり監修/看護技術
 Gsupple編集委員会編集/城生弘
 三輪一智著/中恵一著
 村本淳子編集/高橋真理編集
 安酸史子著
 石井均編/辻井悟編/天理よ
 石井京子/多尾清子
 Mervyn Dean... [et al.]
 Joellen W. Hawkins/Diane M. R
 Jan Walker... [et al.]
 John Keady/Charlotte L. Clark
 Cecil B. Drain
 Meg Guland... [et al.]
 Margaret Comerford-Freese
 Kate Woodhead/Paul Wicker/Ja
 Catherine E. Burns... [et al.]
 Patricia Gonoe-Morton... [et al.]
 Derek Doyle... [et al.] ed.
 Frances A. Maurel/Claudia M.
 Marcia Stanhope/Jeanette Lano
 Martha Keene Elkin/Anne Griff
 Sue Roe
 荘道社
 日本医事新報社
 中山書店
 Nankodo
 Blackwell
 Mosby
 Churchill Livingstone
 学習研究社
 成美堂出版
 名古屋大学出版会
 名古屋大学出版会
 学習研究社
 広川書店
 メディカ出版
 メディカ出版
 日本看護協会出版会
 医歯薬出版
 メディカ出版
 医学書院
 スタメジカルフレンド社
 メディカ出版
 医学書院
 ヌーヴェルヒロカワ
 メディカ出版
 メディカ出版
 医学書院
 Radcliffe
 Springer
 Open University Press
 Open University Press
 Saunders
 Mosby
 Lippincott Williams & Wil
 Elsevier, Churchill Living
 Saunders
 Lippincott Williams & Wil
 Oxford University Press
 Elsevier/Saunders
 Mosby
 Mosby
 Thomson/Delmar Learning

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

クリスティーンのレベルアップ看護英会話CD
 看護英会話入門 CD
 はじめての看護英語 CD
 臨床看護英語 CD Let's listen, speak and learn
 IV therapys kills
 Calculating drug dosages an interactive approach to learning nursing math
 Clinical experiences interview, assess, diagnose
 エイズ患者に寄りそって-国際医療の現場から-
 透析セルフケアvol.1コンプリートDVD
 透析セルフケアvol.2コンプリートDVD

知念クリスティーン/迫和子著
 植木武/トリール・タウン著
 尾崎哲夫著
 仁木久恵/助川尚子/NancyShar
 Dianne I. Josephson
 Sandra Luz Martinez de Castill
 Immersion Corporatio
 徳永瑞子
 新生会第一病院看護部・臨床栄養
 新生会第一病院看護部・臨床栄養
 医学書院
 医学書院
 医学書院
 医学書院
 Thomson Delmar Learning
 F.A.Davis
 nLippincottWilliams&Wil
 紀伊國屋書店
 医学書院
 医学書院

図書館からのお知らせ

医学中央雑誌Web がバージョンアップされました

「医中誌Web(Ver.4)」からのリンク先に新たに「CiNii」が加わりました。これにより、「医中誌Web」から「CiNii」へのリンク、さらに一部の文献については、「CiNii」を経由して「NII-ELS (NII電子図書館)」のフルテキストを参照できるようになりました。

また、「CiNii」から「医中誌Web」へのリンクも行われるようになりました。さらに、「医中誌Web」の文献番号によって、外部のサイトから「医中誌Web」の該当の文献の詳細表示にリンクを張ることが可能となります。

「CiNii」とは？

CiNii (呼称：サイニイ) は、Citation Information by NII = NII 論文情報ナビゲータの略称で、国立情報学研究所 (NII) の学術コンテンツ・ポータル「GeNii」に包含される論文情報ポータルサイトです。このサイトでは、学協会誌・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報が検索できます。また検索された論文の引用文献情報 (どのような論文を引用しているか、また、どのような論文から引用されているか) をたどったり、本文を参照したりすることができます。

「CiNii」の詳細は、下記のサイトをご参照ください。

①【CiNiiサービス案内/CiNiiとは?】

<http://ci.nii.ac.jp/cinii/pages/outline-j.html>

②【CiNii検索サイト】

<http://ci.nii.ac.jp/>

図書等の無断帯出にご注意!!

貸出し処理をされていない図書等を持って (うっかりミス多し) ブックディテクション (無断帯出警報装置) のゲートを通さないようご注意ください。

貸出し手続きをせず、図書館資料を持ち出すことは「不正行為」です。再度、不正行為を行った場合は、図書館の利用を禁ずる事があります。



編集後記

今回18年度の図書館報を発行するにあたり、特に新しくご就任された先生方に原稿をお願いいたしました。中川学長には図書館報名の由来に関するしみじみとした心温まる文章をお寄せいただきました。明治鍼灸大学にふさわしい図書館とはどのようなものか、無い智恵を絞って考えていた私に答えを教えてくださいました。看護学部の先生方には各ユニットのご紹介をしていただきました。看護学の目指す方向がわかるのではないかと思います。「自著を語る」および「私のお勧めの一冊」の項にも4人の先生方に興味深いお話をお寄せいただきました。若い方々の今後の勉強の一助になるものと思います。お忙しい中原稿執筆をご快諾いただきました各先生方にはこの場を借りて厚くお礼申し上げますとともに、今後ともよろしく願います。

(中尾昌宏)

平成17年度の収書・蔵書状況

- ・収書冊数：一般図書3,113 (497)、製本雑誌445 (213)、視聴覚資料 368 (8) 合計3,926 (718)
 - ・蔵書冊数：一般図書46,294 (9,150)、点字図書1,404、製本雑誌12,004 (6,042)、視聴覚資料 2,069 (120) 合計61,771(15,312)
 - ・雑誌タイトル数：学術雑誌236 (92)、一般雑誌16 合計252 (92)
- ()は外国書で内数。

平成17年度図書館利用状況

1、貸出件数

鍼灸学部・保健医療学部・短期大学部等 (延べ人数)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	院 生	卒 研 生	その他	教職員	小 計	
										冊数
H17年度	冊数	335	495	312	1,007	1,015	199	96	886	4,345
	%	8	11	8	23	23	5	2	20	100
	人数	231	337	215	711	359	74	37	258	2,222
H16年度実績	%	10	15	10	32	16	3	2	12	100
	冊数	683	725	421	820	468	396	81	1,133	4,727
	%	15	16	9	17	10	8	2	23	100
H16年度実績	人数	458	515	320	547	170	132	36	331	2,509
	%	18	21	13	22	7	5	1	13	100

*学部生の長期貸出

(上記表の内数)

受付期間	鍼灸 保・短		H16年度実績	鍼灸 保・短	
	冊数	人数		冊数	人数
夏季休業 (7月~8月)	112	34	79	26	
	70	23		16	
冬季休業 (12月)	96	14	114	21	
	62	11		14	
春季休業 (1月~3月)	74	13	193	23	
	45	9		12	
合 計	343		441		
	220		293		

2、閉架資料利用件数 (閲覧・貸出)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	その他	小 計	H16年度実績
人数	255	257	349	817	118	1,796	1,369
冊数	178	190	247	550	60	1,225	1,951

3、文献複写 (図書館相互協力)

(平成16年度実績)

- ・受付件数 189件、605 枚 89件、285 枚
- ・依頼件数 64件、262 枚 91件、329 枚

4、休日開館 (土曜日等) の利用状況

(平成16年度実績)

- ・開館日数 40 日 35 日
- ・利用人数 70 人 56 人